



町名変更を未来のまちづくりにどのように活かすのですか。

①町名変更をきっかけに、将来につながるまちづくり

「十勝清水町」への町名変更を一つのきっかけとして、将来にわたって町民の暮らしを守り、安心して住み続けられるまちを次の世代へ引き継ぐ、未来に向けたまちづくりを進めていきたいと考えています。

町名変更は、決して魔法のような解決策ではありません。

「十勝」を付けたからといって、すぐに人口が増えたり、町の経済が急に良くなったたりするものではないことは十分理解しています。

町名に「十勝」を冠することで、全国に誇れる農畜産物や、日高山脈襟裳十勝国立公園に指定された美しい自然景観などの魅力がより多くの人々の目に留まり、清水町を知ってもらい、訪れてもらい、産品を買ってもらい、応援してもらおう可能性を広げることができると考えています。

町名変更を通じて、町の未来を共に考え、共に選んでいくことが、これからのまちづくりの第一歩になると考えています。

②認知度向上による地域経済の活性化と行政サービスの維持

町の認知度が高まることは、企業誘致の推進につながります。企業が進出すれば雇用が生まれ、地域経済が活性化し、そして、それが将来的にスーパーマーケットなど生活に必要な施設の誘致にもつながります。

一方で、少子高齢化と人口減少は全国共通の課題です。本町人口は、20年後に約6,200人、現在の約3分の2になるという推計もあります。人口が減少すれば、税収が減り、行政サービスの維持が難しくなることが想定されます。だからこそ、企業誘致やふるさと納税の拡大などにより、税収や雇用を少しでも確保し、行政サービスを維持していく基盤づくりが必要です。

特に、地場産品の開発と情報発信を進め、「十勝清水町」の名前とともに魅力を届けることで、地域の活性化を図り、将来的にはふるさと納税額で十勝管内ナンバーワンを目指していきます。得られた財源は、子育て支援や福祉、教育など、町民サービスの充実に活用していきます。

③未来の世代へ引き継ぐための選択と、住民による判断

町名変更は、将来の町民の暮らしを支えるための、今の世代から未来の世代への贈り物だと考えています。

今を生きる私たちが、20年後、その先の世代に「この町に住んでよかった」と思ってもらうための一つの選択です。

これは、行政だけで決めるものではありません。

町の将来に関わる重要な選択だからこそ、最も公正で公平な方法である住民投票により、町民の皆様一人ひとりにご判断いただくものです。